

ジギョケイ

事業継続力強化計画

「ジギョケイ」とは「事業継続力強化計画」の略で、災害や緊急事態に備え、重要業務を止めず早期復旧するための、国（経済産業大臣）が認定している中小企業向けの制度です。

「ジギョケイ」を作成する目的

いのちと事業を守る計画

従業員の「いのちを守る」ことを第一に、災害などのリスクに備えた事前対策を計画し、事業への被害を最小限に抑えます。

事業継続と早期再開の取組

重要な業務を止めず、早く再開できる仕組みを整えます。
緊急時でも事業を継続し、損失を最小限に抑えます。

ジギョケイ認定で広がる信頼と支援

「ジギョケイ」の認定を受けると、補助金や融資などの優遇措置が利用できます。
認定ロゴマークを使用できるようになり、取引先からの信頼性や企業の信用力が向上します。



ジギョケイ

事業継続力強化計画

「ジギョケイ」の認定を受けるためには、申請が必要となります。
申請には、申請様式のフォームに入力し提出が必要です。
中小企業の規模によって認定を受けれるか確認が必要です。

「ジギョケイ」の申請（単独）

1 認定対象の企業が確認

中小企業の規模により認定を受けられるか確認が必要です。

2 「G ビズID」アカウントの取得

アカウントの取得には、2週間程度が必要です。

3 亀忠のヒアリングシートから申請補助ツール作成

エクセルでお渡しするヒアリングシートに入力をする。

4 「電子申請システム」から申請

アカウントを取得した G ビズにログインをし、補助ツールを使用して申請をする。

5 審査・認定

標準処理期間は申請から 45 日（不備があった場合は修正変更が必要になります。）

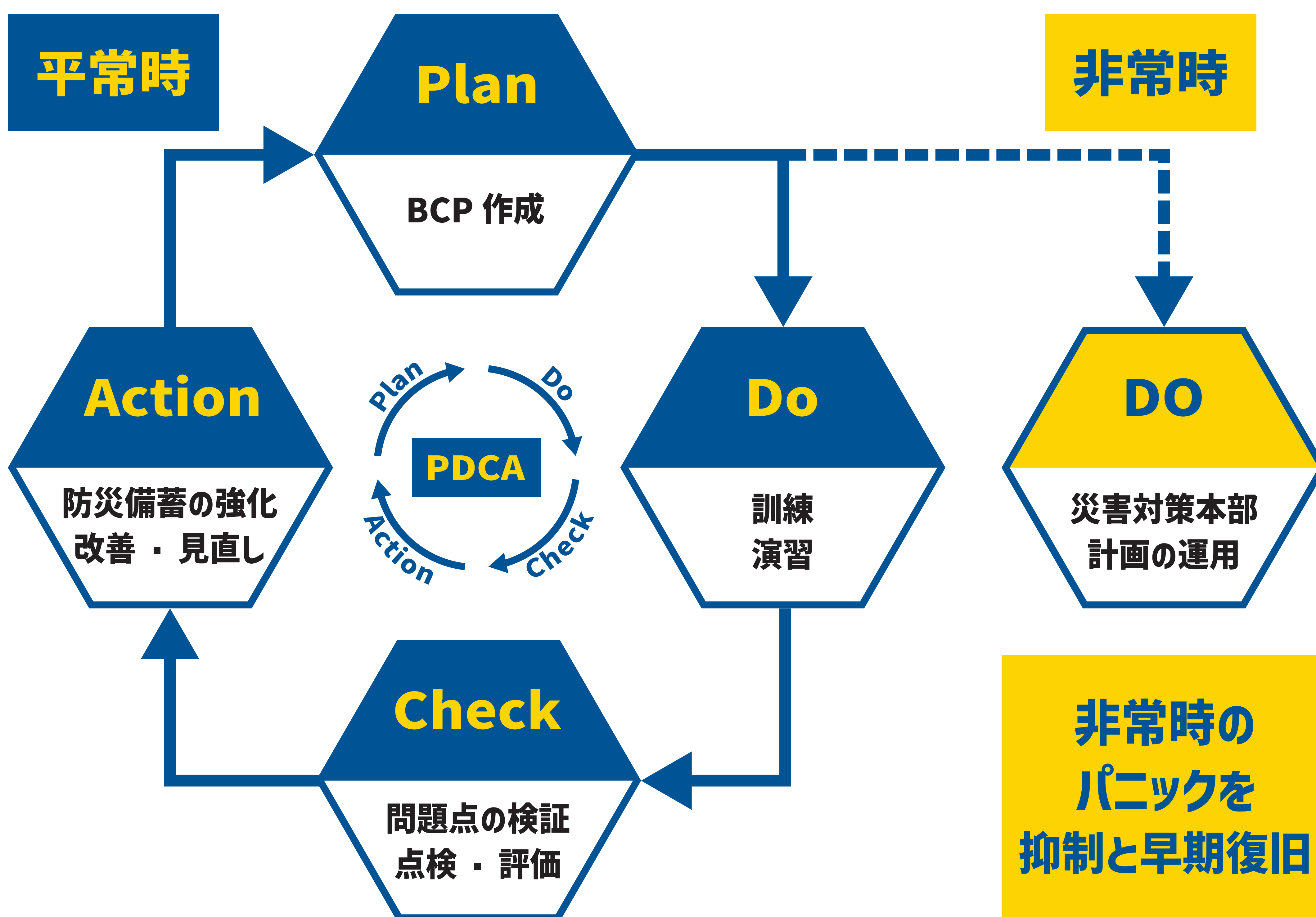


ビジー-エム

事業継続マネジメント

作って終わりではなく、BCP を PDCA サイクルで継続的に回し、
強化していくマネジメント活動のことです。
会社が将来に向けて成長し、信用評価の向上と生き残るための重要な取り組みです。

BCM



PDCA を回し続けなければ実効性は上がらない

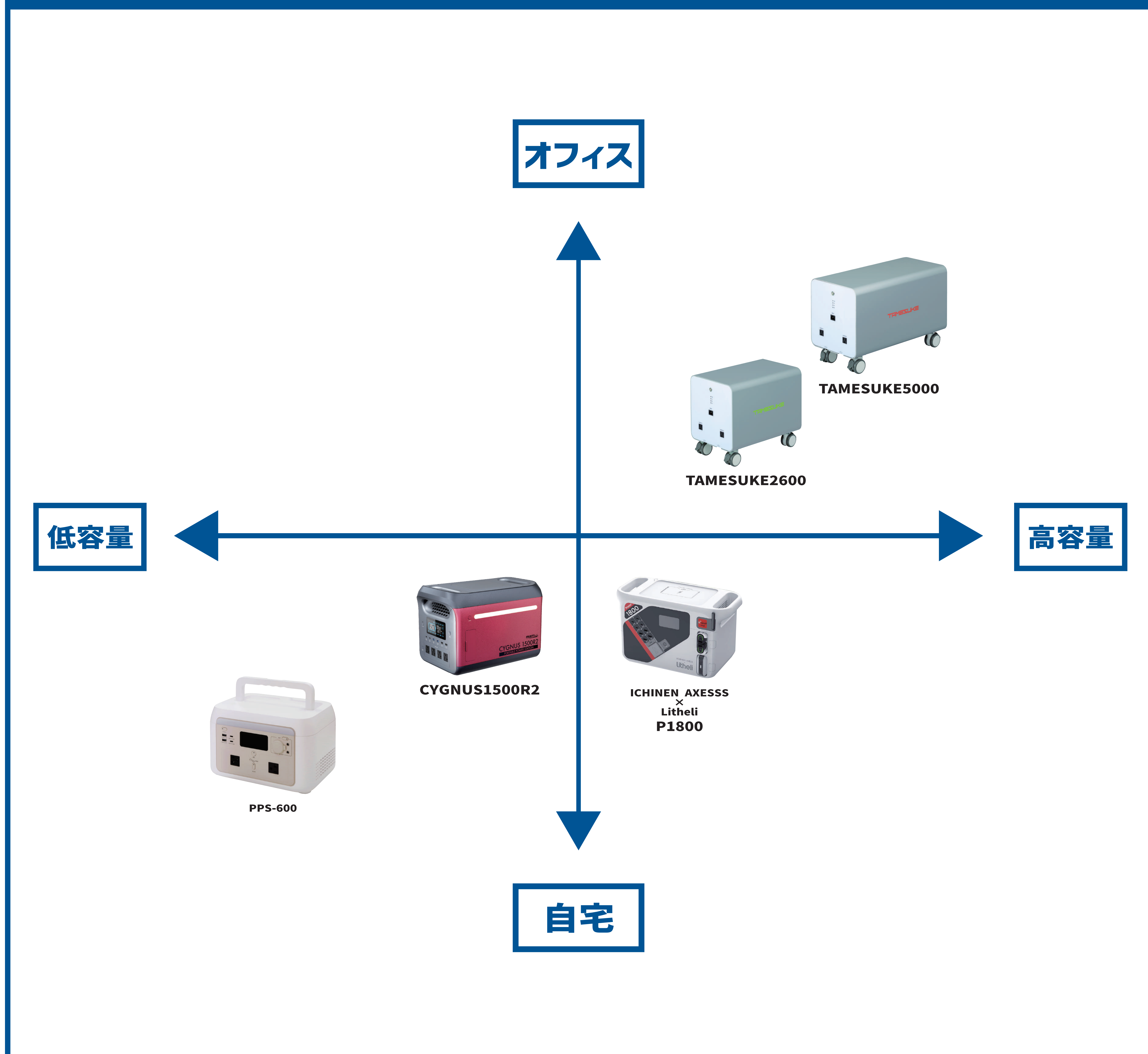


チクデンチ

災害対策用蓄電池

停電時に電力を確保できる蓄電池は、事業継続の生命線。
通信・照明・PCなど、最低限の機能を守るための
「備え」が企業の信頼を支えます。

災害時蓄電池マトリクス図

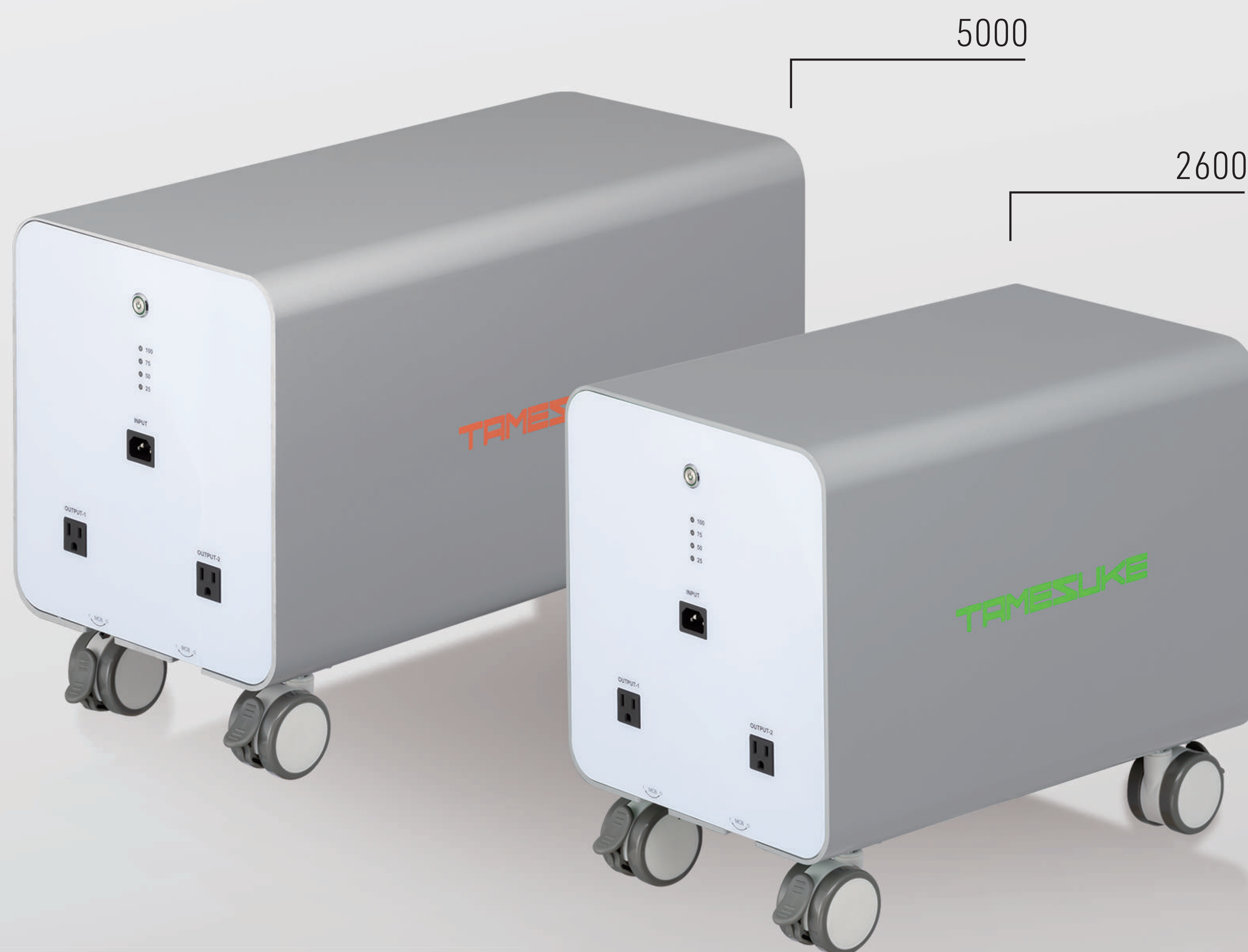


TAMESUKE

可搬型蓄電池

可搬型蓄電池とは、災害時などで電源が確保できない場所でも
電気を供給できる持ち運び可能な蓄電池です。
コンセントから充電し、非常時の電力確保に役立ちます。

オフィスや家庭に溶け込む
スマートなデザイン。



大容量 ・ 高出力 ・ 小型軽量

オフィス、家庭で消費電力の大きい機品を長時間作動できる大容量、高出力（大型冷蔵庫・コピー複合機・冷暖房機）。
定格出力の小さなタイプでは使用する機器の消費電力を確認する必要がありましたが、TAMESUKE はオフィス用、
家庭用機器であれば、消費電力を気にせず使用できます。

（TAMESUKE2600:295×450×395mm / TAMESUKE5000:295×594×395mm）

停電時に自動で電池からの給電に瞬時に切替

停電を自動で検知し、電池からの給電へ瞬時に
切替えます。（PC などの動作にも影響なし。）
ポータブル電源のように、停電時に差し替える
必要はありません。データ機器等を予期せぬ
停電から守ります。

